

私も「浦高さん」に近づく!

●平成24年度 浦和高校同窓会総会

今日は午後2時から浦和ロイヤルパインズホテルにて「平成24年度 浦和高校同窓会総会」が行われました。総会の設営は、前度年に還暦を迎えた卒業生が準備することになっており、今回は22回卒業生の皆さんが赤いちゃんちゃんこを着て受け付けてもらいました【写真①: 受付風景】。



最初に副会長

長の岡村幸四郎さん(23回、川口市長)の開会宣言です【写真②】。



「皆さん、こんにちは。青葉の季節というよりも、すでに真夏というような陽気になりましたが、ここロイヤルパインズにて茂木支配人のご配慮で総会ができますことは大変嬉しいことです。また、今朝の埼玉新聞に関根校長の『浦高生は三兎追え』という記事があり、こちらは大変タイムリーで嬉しい限りです。本日、ご参集の皆様は、浦高に誇りと思いを持って参加して下さった方々だと思います。現役の素晴らしい生徒達の活躍を目の当たりにして、自分たちの高校時代にタイムスリップしていただきたいと思ひます。学業ばかりではなく、世のリーダーとして人間として成長できる環境を調えるために同窓会もご支援し、天下の浦高であり続けて欲しいと思ひます。それでは、総会を開催いたします。」

続いて川野幸夫会長(13回、ヤオコー会長)のご挨拶【写真③】。「皆様、こんにちは。今朝は埼玉新聞の粋な計らいで関根校長先生が語られた浦高の記事がトップに掲載されており大変嬉しく思いました。【写真④】



今年の大学入試でも東大に40名、東工大、一橋大などさまざまな大学に多くの学生が進学し、また、部活動でも素晴らしい成績を残し、さらに**第1回の科学甲子園優勝**と、まさに**本校の精神である『尚文尚武』**を実践し、素晴らしい活躍をしていただいております。こうした浦高の発展のために、私たち同窓会としてはさまざま支援に努めてまいりたいと思ひます。

世界の国々では、社会情勢や経済面でさまざまな混乱が続き、我が日本でも長期の低迷が続いております。そんな時だからこそ、多くの人々が世の中を変えていかなくてはならないと考えており、変化の時代にあっては国においても企業においてもリーダーの役割が大切であります。私は常々申し上げておりますが、**リーダーたるべき人材の育成こそが、浦高の役割である**と思ひます。日本の若者は、内向き、下向き、後ろ向きなどと言われておりますが、グローバル社会に対して、浦高においてはアメリカでのサマーキャンプへの留学など、積極的に海外で学ぶ学生が現れており、同窓会としても積極的に支援したいと考えております。

2015年の120周年を前にして、今後とも若者の支援を継続的に行っていくことを課題と考えておりますので、皆様のご支援をお願いいたします。」

続いて関根郁夫浦和高校校長からご挨拶【写真⑤】。



「浦高生は学業においても、運動においても頑張っております。今年も弓道部、剣道部、カヌー部、ボート部、囲碁将棋部が関東大会出場を決め、ラグビー部も秋には関東大会、そして花園

目指して頑張っております。第1回の科学甲子園においても、文科省のモデル校を打ち破って優勝し、アメリカでの大会でも活躍をしてくれ、語学のハンデが有りながらも地元での歓待を受けてきたところです。

若者達が海外を敬遠する中で、我が校ではアメリカでのサマースクールへ送り出すことや、姉妹校のイギリスのホイトギフト校への留学など、世界で活躍する人材育成のために努力しております。昨年は、ホイトギフトから初めてケンブリッジに進んだ学生もあり、我が校から海外の大学に進むという道も生まれつつあります。若い人たちに、早い時期に海外に目を向けさせ、グローバル社会の中で活躍できる人材を継続して育成していくためにも、同窓会のご支援は不可欠であります。

＊

私は浦和高校には三つの役割があると思います。

1. 目の前にある大学への合格

高等学校として、目の前にある大学への進学はもちろんのことです。

2. グローバル社会の中で戦える人材づくり

学校では論文を書くこと、ディベートをすること、数学においては解説をすること、議論や発表ということにも力を注いでいます。これは、学業だけでなく、グローバル社会の中で個を伸ばす教育です。

3. グローバル化の先の人材をつくる

これは、教育では教えられない事だと思えます。グローバル化の先に何があるのか、そのヒントは創造だと思っています。日本人、日本文化に裏打ちされた創造です。日本の文化の良いところを伸ばすこと、例えば部活動、掃除、礼などを意識して行い、そこから自分自身を磨いていくことだと思えます。

＊

本校では皆さんがやってきた事を発信し、国や県に期待できない部分もやっていきたいと思っています。先生達も個々が自覚をもって教育に取り組むことができるよう同窓会のご支援をお願いします。」

お二人からの力強い挨拶をいただき、議事に入りました。

(1) 平成23年度事業報告並びに決算報告

事業報告では、常任理事会や理事会、さらには各地域同窓会などへの参加とさまざまな事業が報告されました。特に、今回「本多静六賞」をいただいた年3回の「浦高百年の森づくり」、11月に浦和から古河まで50キロを走破する「第54回競歩大会」、東日本大震災への義援金100万円などが…。新会員は第64回卒業生366名です。

さらに決算額は39百万円余、正味財産は93百万円余と報告されました。

(2) 監査報告

(3) 平成24年度事業報告並びに予算案

今年も「浦高百年の森づくり」が7月21日(土)、11月18日(日)、3月23日(土)で行われます。また第5回地域職域同窓会責任者会議が2月2日(土)に行われます。そして、予算は38百万円余です。

(4) 平成24・25年度 同窓会役員案

役員改選の年であり、皆様の強い意向で常任理事が若返りました。川野会長(13回)、小室副会長(19回)、岡村副会長(23回)、柴崎副会長(27回)、常任理事は11回から35回までの19名となり、事務局長も交代し鯨井光夫さん(19回)となりました。そんな中で、私・香田も25回生として常任理事の仲間入りをするようになりました。

11年前に春日部地区浦高会を立ち上げるにあたり、三輪昭彦さん(15回、春日部地区浦高会現会長)に誘われて始まり、常任理事の鳥井隆一郎さん(11回、春日部地区浦高会副会長、ミスター同窓会)から誘われてさまざまな浦高同窓会行事に出席している間に、鳥井さん同様に私も女房から「また浦高さんですか…?」と言われるようになりました。(^^)



総会議事が無事に終了し、15時過ぎから講演会になりました。講師は、柴崎和夫さん(22回)國學院大學教授による「南極越冬隊の今と昔 ～越冬隊員の私的南極物語より～」でした。

柴崎さんは昭和26年上尾町生まれで、昭和42年に浦高入学、45年東大理学部へ、大気物理・地球物理学を専攻され、1983年には南極観測船「ふじ」にて南極に行かれ、昭和基地にて越冬を体験されていらっしゃる方です。そんな柴崎さんから、キムタク主演の番組では語られなかった南極のお話を伺うことができました。このお話は明日へ…。